

Action

町田市立薬師中学校
第2学年
令和7年10月3日
第22号

音楽祭 審査委員会

木曜日の昼休み、全学年の審査委員が集まって音楽祭の審査の観点や審査方法についての説明がありました。

＜審査の観点＞

声量・発声	・1人1人が意欲的に歌い、まとまりのある声になっているか ・響きのある声で、歌詞をはっきり伝えているか
ハーモニー	・各パートの声が響き、美しく重なり合っているか
表現力	・曲の雰囲気をつかみ、強弱などの楽譜に書かれた要素を豊かに表現し訴えるものがあるか
意欲態度	・入退場や舞台上のマナーや鑑賞中のマナーは守られているか ・服装はきちんとしているか ・クラス全員が協力しているか



なぜ以上のような評価基準なのでしょう。それは、この音楽祭が、

- ①音楽祭の合唱の練習を通し、クラスの団結力を高める
- ②他のクラスの演奏を真剣に聴き、鑑賞のマナーを身につける
- ③合唱を通して歌い合わせる喜びを味わうとともに、歌唱表現の能力を伸ばす

ことを目的としている行事であるからです。

審査委員になった人たちは、音楽祭をより良くするために、この目的達成に向けて、学年リハーサルなどで審査の観点がどの程度達成できているか、そしてどの観点到どのような課題があるか講評してくれます。講評を真摯に受け止めて、より良いクラス合唱を目指していきましょう。

※敬称略

	2-1	2-2
審査委員	A	B

中間考査の復習をしよう

中間考査が終わり、結果がバラバラと返ってき始めたことと思いますが、事前に学習計画表で設定した目標は達成できたでしょうか。中間考査は自分の理解度などを点数として客観的に知る機会ではありますが、目標を達成するためにどうすればいいのかを試行錯誤する良い機会でもあります。単純に点数の良し悪しで一喜一憂するのではなく、自分の行動を振り返り、結果と照らし合わせることが大切です。



例えば「全教科平均点以上を取る！」ことを目標としていた場合は、平均点以上を取れた教科の勉強方法は自分に適していた可能性が高いでしょう。平均点に届かなかった教科は、なぜ届かなかったのか考えてみましょう。「勉強時間が足りなかった」と考えた人は「あと何時間やればよかったのか」を具体的に考えてみましょう。「何時間やればよかったのか」がわからないという人は、「どの内容や問題をもっと勉強しとけばよかったのか」を具体的に書き出してみましょう。そして、書き出した内容を理解するために、それぞれどれくらいの時間がかかりそうか考えてみると、あと何時間やればよかったのか振り返ることができるのではないのでしょうか。

テストが終わったあとに「もっと勉強をすればよかった」とか「勉強する教科のバランスが偏ってしまった」などと思った人は、次に同じことを繰り返さないことが目標達成への第一歩です。ですから「どうしてもっと勉強できなかったのか」や「いつのまにバランスが偏ってしまったのか」を真剣に考える必要があります。原因が明確な人は、解決策を考えましょう。解決策も明確な人は、その解決策を他人から言われてからやるのではなく、すぐに自分から行いましょう。後回しにして良いことはありません。後悔するばかりです。

